公表 事業所における自己評価結果

		公表事等	N971111037	あ自己は	II IMPROP.	
83	USS.	運動発達支援スタジオ笑みりい~南花田			公捌日	令和7年 10 月 30 日
H		チェック項目	はい	5/3/3	工夫している点 必要な広さを確保しています。	課題や改善すべき点
	1	利用定費が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
程規、体制整備	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である か。			適切な人員配置数です。	
		生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になってい	6		はじめの会から、終わりの会走、何をする か示したり、色分けしたテープで、視覚的	
	3	るか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、パリアフ リー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		に待つところなど分かりやすくしていま す。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる模塊になっているか。また、こども連の活動に会わせた空間となっているか。			郊路換気は行い、利用クラスごとに消毒や 消練をおこなっています。	洗蛋白も清潔に保つように開始していきま す。要になると嬢が上がってきていること
			6		2階の静かな部屋でクールダウンして落ち	もあったので、駆除しています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認め られる環境になっているか。	6		付いて活動ができるようにしています。	
果药	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(日標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。			毎日、利用しているお子さんの活動記録を 各職員が記載し、モニクリングに反映させ て、次の個別支援計画書にも反映してい	
		保護者向け評価表により、保護者等の原向等を把握する機会を設	6		る。 毎年 アンケートに答うていただき 林里	
	7	株成名内()計算的により、株成名寺の前り寺を元禄する権会を収 けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		を職員全体で振り返り業務の改善や共称を 行っています。	
æ	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。			部礼、終礼やケース会議、支援会議、プロ グラムのすすめ方など職員で話をする機会 を多く取りようにしています。	
26	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を単務改革につなげてい	6		を歩く取りようにしています。	第三者による外部評価は行っていません。
	_	ātr.	6		新しく入職した職員には検育にあたっての	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等 で研修を開催する機会が確保されているか。	6		研修を施設内でして、外部の研修も案内が あれば受講するようにしています。	
	11	週切に支援プログラムが作成、公表されているか。			2週間ごとにプログラムの変更はしていま す。毎月何をするか支援プログラムは作成 しています。	前もって公表はできていないのですが、そ の時々の活動の様子とプログラムを連絡ア
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護 客のニーズや課題を客観的に分析したよで、児童発達支援計画を	6		保護者面談、着投から利用児のニーズを開 き取り値別支援計画に反映しています。	ブリでご報告させていただいています。
	12	名のニースト等地を各級的に方針のたまで、元重発達文機計画を 作成しているか。	6		首段から個別支援計画の目標を見ながら、	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だ けでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども			記録を記入する時、子どもの課題やニーズ 保護者のニーズが反映するようにしていま す。また、朝礼や終礼、女授会属で共通理	
		の最高の利益を考慮した検討が行われているか。	6		す。また、弱礼や終礼、支援会議で共通理 解をしています。 保護者間談、前段から利用売のニーズを開	
適切な	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行わ れているか。	6		体験各級制、質問から利用の以上一人を向 き取り個別支援計画の反映しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマ			その日の利用児の行動観察をしてその日の うちに一人一人どうだったか、全職員で話	
		マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマ ルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達	6		会いをして、記録もしている。 それぞれのお子様の発達年齢や今後の成長	保護客様の関き取りをした希望や職員の意
	16	支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「原施支援」、「移行 支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も請求 えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上			について保護者様と話し合い、必要な支援 内容を設定しています。	見がより反映されるようにケース会議を充 実して開催しています。
支援		えながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上 で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		型いた時間で決めてチームで考えてすすめ	
の規	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		ています。	
供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。			プログラムが固定化されないように毎月考 えて決めています。	
			6		職員間で利用児の状況を共有し、値別活動 と毎回活動を組み合わせて計画の作成をし	
	19	こどもの状況に応じて、値報活動と集団活動を適直組み合わせて 児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		と集団活動を組み合わせて計画の作成をし て、支援しています。 翻札でその日の支援内容や注音点、控制分	
	20	支援開始的には職員間で必ず打会せを行い、その日行われる支援 の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。			部礼でその日の支援内容や注意点、役割分 担についてやそれぞれの仕事の確認してい ます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支			年16年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	
	**	娘の掘り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		だったか伝え合っています。 毎日の支援の様子を個別支援計画に照らし	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善 につなげているか。	6		会わせ活動記録の中に記載し、検証して改 番するようにしている。	
	23	支架的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要 性を利断し、適切な見直しを行っているか。			少なくとも6か月に一度見直しています。 必要に応じて見直しをして計画の変更も	
H			6		行っています。 児童発達支援管理責任者が中心に参加して いるが必要に応じて指導責む参加すること	
	24	脚裏児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		いるかの安において指導員でか出すること があります。 必要に応じて利用時が通う、保育園やこと	
	25	助域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		む安におして利用時が通う、体育調がこと も間、幼稚園に保護者様に承諾していただ き連携することがあります。	
		供行利用や銀行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進 の組みならを提出につているか、また、その際、の意味が終まっ			保護者様からご依頼があれば、モニタリン グ業通所報告書を作成し、利用時の様子を	
	26	の動点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こ ども国、幼稚園、特別支援学校(幼稚郎)等との間で、支援内容等 の情報共和と相互理解を限っているか。			伝え、共和している。	
	27	裁学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間			サービス担当者会議や送送の連絡事項など で情報共称をしている。	今後、就学先の小学校や特別支援学校との 支援内容の情報共有をする機会を作ってい
保		で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 (28~30は、センターのみ回答)	6			きたいと考えています。
40. DI	28	地域の他の児童発達支援センターや帰害児通所支援事業所等と連 携を回り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
や保						
摄器	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助賞を受 けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
2 8	30	(向立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積 細的に参加しているか。				
連携		(31は、事業所のみ回答)			スーパーパイズの助賞を受ける機会をもう け、日々の支援に高かすようにしている。	
	31	物域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスー パーパイズや助言等を受ける機会を設けているか。			 ロペの支援に高かりようにしている。 	
		バーバイス(Validite Exp.) の確認を扱いているか。 保育所や認定こども国、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこ	6		保護者様の同意のもと、利用されているお	今後は交流する機会が持てるように考えて
	32	どもと活動する機会があるか。	6		子様の個に何い、他のお子様の様子も何せ て見せていただくようにしています。 その日の様子を耳耳を乗って連絡アプリに	LVET.
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え会い、こどもの発達の状況 や課題について共通理解を持っているか。			その日の様子を写真を描って連絡アプリに 掲載して伝え、保護者様に直接お話しして 共通理解ができるようにしています。	
		要集の対応力の向上を図る観点から、要集に対して家族支援プロ	6		外部研修の案内で保護者向けの研修の案内	
L	34	グラム(ベアレント・トレーニング等)や東接等の参加できる研修 の機会や情報提供等を行っているか。	6	<u></u>	があればineで一斉に送り、研修等の呼びか けをしています。	
	35	連禁規程、支援プログラム、利用者負担等について丁草な飲明を 行っているか。			体験見学や契約にお越しいただいたときに 丁率にお伝えするようにしています。	
		児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の意	6		保護者面談を行い保護者様のご希望をお開 きし、お子様からは支援中にエーズを開き	
	36	重、こどもの最高の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや 原族の原向を確認する機会を設けているか。	6		取りできる限り聞いて反映している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護 客から児童発達支援計画の同意を得ているか。			支援計画内容を説明し、同様を得た上で著 名していただいています。	
		定期的に、単族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応	6		定期的に面談し保護者からの相談に対して 助賞や支援を行うように心がけています。	
保護者への	38	じ、面談や必要な助品と支援を行っているか。 ○日ののの可数を必要することか、必要者の気を開発する気による。	6	<u> </u>	助賞や支援を行うように心がけています。 保護者交流会は年2回企画しています。イ	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしてい			保険者交流会は申2回企画しています。イ ベントプログラムにはきょうだい把も参加 できるような企画も立て呼びかけていま	
		るか。 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備	6	\vdash	す。 相談や申し入れがあった場合は職費全体で	配慮が足らない場合もあるので間き取りを
既嗣	40	するとともに、こどもや保護者に関加し、相談や申入れがあった 場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		共有し迅速に対応するようにしている。	しっかりして、対応していく。
*	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することに より、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者			HPやSNSで活動報告をしています。Lineで 活動の様子を保護者様に送り確認していた だいています。	今回の保護者様へのアンケートではSMSでの 活動報告は不要だという意見もありました が、個人情報等、細心の注意を払ってご報
		に対して発信しているか、	6		個人情報の取り扱いは気を付けています。	が、個人情報等、類似の注意を払うした報 書させていただきます。
	42	個人情報の取扱いに十分値限しているか。	6		個人を特定されないようにしています。	
	43	類素のあることもや保護者との意思の政連や情報伝達のための記 素をしているか。			お子様にはわかりやすい表現で伝えること や視覚支援も行っています。保護者様との 意思政道や情報伝達はLINEや電話、ご自宅	
		100 m or 1, 9 7000 h	6	<u> </u>	に何ってするようにしています。 会長は土っチンカーをご覧路することはア	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業運営 を図っているか。			きなかったのですが、地域のイベントの情 報をお知らせして保護者様同士で誘い合っ	
非無時等の対応		事故的止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル。	6	\vdash	て参加できるようにしています。 マニュアル等を指定し定期的に映像をみ	マニュアルはあるが、わかりやすく整理し
	45	感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとと 也に、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		て、実際に訓練を行っています。	てどの職員も見てわかるようにしていく。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に偏 え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。			BCPを策定して、災害時の物品を購入した り、定開的に避難、救出の訓練を行ってい ます。	
	47	車前 - 設定的支援機関 マイヤイ及及協のエジャの特別を開発	6		ます。 体制時や契約時、保護者面談の時に確認し ています。	
	47	しているか。	6		ています。 普段はおやつは提供していませんがイベン	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に届づく対 応がされているか。	6		トなどでおやつを提供する場合は保護者様 に確認して提供しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な 誘菌を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている			安全計画を存成し月一回安全点検を行っています。	
		か。 こどもの安全機保に関して、単独等との連携が図られるよう。安	6		契約時の重要事項で説明させていただいて	災害時の緊急連絡先の確認や米所時に災害
	50	全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	<u> </u>	UST.	が発生した場合の避難訓練など保護者様に 詳しく説明する機会を作ります。
	51	とヤリハットを事業所内で共有し、再発的止に向けた方面につい て検討をしているか。	6		ヒアリハットの事例が発生したときは、終 礼や朝礼で開知し、報告書の作成をして職 費全員にサインしてもらっています。	
	52	虐待を防止するため、職長の研修機会を確保する等、適切な対応			資金員にサインしてもらっています。 定用的に適待防止の研修を行い、職員の原 適を高めています。	
		をしているか 。	6	-		現時点で身体拘束をしないといけない声量
		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的 にかます。 ことをためままに集めによなに関係して飲み得た。				現時点で身体拘束をしないといけない児童 はいませんが、身体拘束のマニュアルをも とに必要に応じて、保護者様に相談後、個
	53	に決定し、こどちや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上 で、児童発達支援計画に記載しているか。				別支援計画書に記載し、同意書にサインを いただいた上で、「実施・経過・記録」を していきます。
ᆫ			- 6		l	